

目 次

入学者の受入れに関する方針	1
募集人員	7
出願資格	7
【注意】 TOEFLのスコア提出等について	9
出願手続	10
受験上及び修学上の配慮を必要とする者の事前相談	16
入学者選抜方法等	16
試験日時及び試験場	17
受験上の注意事項	17
合格者発表	17
入学手続	18
個人情報の取扱い	19
入試情報の開示	19
学部の紹介	20
学生生活	24

(添付書類)

1. 入学願書(裏面も記入すること)・受験票・写真票
2. 志望理由書
3. 履歴書
4. C票 振込金受付証明書(入学検定料の納入上の注意)
5. 納入確認票
6. 宛名ラベル(合格通知書・入学手続案内送付用)
7. 「受験票在中」封筒
8. 「入学願書在中」封筒

私費外国人留学生特別入試に関する問合せ先 (裏表紙裏面)

入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)

大学の入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)

1. 教育目的

和歌山大学は、地域における学術・文化の府として、豊かな人間性と社会性を育み、自然と調和した社会の発展に向け、修得した専門的知識や技術を通じて、未来を自らの力で切り拓き地域と世界で活躍できる人材を育成します。

2. 求める学生像

本学での学習を可能にする基礎的な知識・技能を備え、以下に示す要件のいずれかを満たし、志望学部が示す学生像に適合する人を求めます。

- (1)学問への探究心を持ち、課題解決に意欲的に取り組む人
- (2)自らの将来を見据えた明確な目的意識を持つ人
- (3)未知の事柄に積極的に挑戦する意欲のある人

経済学部 入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)

1. 教育目的

学部の目的(教育理念)

学部は、広い視野と専門領域に応じた基礎学力及び経済社会を体系的に理解できる能力をもち、経済社会のさまざまな問題を真摯に受け止め、的確に判断し創造的・実践的に対応できる人材を育成することを目的とする。

(経済学部規則第1条の2)

学部の教育目標

和歌山大学経済学部は、和歌山高等商業学校として創設されて以来、長きにわたり社会から必要とされる人材を輩出してきたという伝統を持ちます。この伝統を大切にしながら、多様で変化の激しい予測困難な社会を体系的に理解し、刻々変化する世界経済の動向に的確に対応することができる人材を育成します。そのために、以下の知識を教授し、技能、態度・姿勢、統合的な能力・姿勢を涵養します。

〈知識〉

- (1)和歌山の歴史や事情、和歌山大学の伝統も含む幅広い教養、経済学や経営学を中心とする社会科学の諸分野の基礎的・専門的知識

〈技能〉

- (2)論理的思考力を中心としたコミュニケーション力、情報リテラシー、数量的スキルなどの汎用的

技能

〈態度・姿勢〉

(3)個人の自立と他者との協働を図りながら、経済社会のさまざまな問題を真摯に受け止める姿勢

〈統合的な能力〉

(4)さまざまな問題の解決に向けて情報を収集し、習得した知識や修得した技能を利用し、的確に判断し、創造的・実践的・主体的に行動する能力

2. 求める学生像

経済学部を求める学生像は以下のとおりです。

高等学校等の標準的なカリキュラムや課外活動、諸外国における教育制度の下での学修、高等教育機関における学修や諸活動、並びに就業などを伴う社会的な活動などの様々な学びの機会を通して、次のような知識・技能・能力を身につけようとしてきた人を求めます。

- ・社会の複合的な課題を発見・理解するための幅広い基礎的知識
- ・認識した課題を分析・解決するための思考力
- ・課題解決の実践にあたり、多様な人々と対話するためのコミュニケーション能力

入学後には、自らがさらに努力を重ね、多くの人と関わり合いながら、経済・社会の活動にかかわる諸問題に一層の関心を持ち、これまでに身に付けた能力を磨くとともに、次のような知識・技能・能力を身につけることを期待します。

- ・経済学、経営学、会計学、情報学、法学などを中心とした専門知識
- ・専門知識を領域横断的に活用した理解力、思考力、表現力
- ・主体的に学び、考え、多様な人々と協働する能力

3. 入学者選抜の基本方針

(1)一般入試〔前期日程〕では、高等学校等で学ぶ各教科の基本的な知識と、英語の理解力及び数学的思考力を、それぞれ大学入試センター試験と個別学力検査等により評価し、入学者を選抜します。また、商業に関する知識・技能・思考力を備えた人材を選抜するために、大学入試センター試験及び個別学力検査等において、商業関連科目の選択を認めます。

(2)一般入試〔後期日程〕では、外国語の理解力と特定分野の知識、並びに高等学校等で培った理解力(読解力)・論理的な思考力・表現力(文章力)をそれぞれ大学入試センター試験と個別学力検査等により評価し、入学者を選抜します。大学入試センター試験の評価において、すぐれた成績を取めた科目に配慮します。理解力、論理的思考力、表現力を重視し、入学者選抜の評価に反映します。

(3)推薦入試では、高等学校等において身につける学力のうち、基本的な知識の修得状況と学ぶ意欲、社会科学を学ぶ上で必要な理解力(読解力)・論理的な思考力・表現力(文章力)、他者との議論や

協働的な活動の礎となるコミュニケーション能力を、それぞれ出願書類、小論文、及び集団討論により評価し、入学者を選抜します。

- (4)スポーツ推薦入試では、高等学校等において身につける学力のうち、社会科学を学ぶ上で必要な理解力(読解力)・論理的な思考力・表現力(文章力)を小論文により評価します。これに加えて、基本的な知識の修得状況、顕著な成績を取めたスポーツ活動において培われた主体性や多様な人々と協働する力、及びスポーツの実践、普及、振興についての関心を出願書類と面接により評価し、入学者を選抜します。
- (5)社会人特別入試では、高等学校等の卒業後の社会人経験とそこから得た知見、及び生涯にわたり学び続ける姿勢などを出願書類及び面接により評価し、入学者を選抜します。
- (6)帰国子女特別入試では、諸外国での学びと日本における学びのためになされた種々の活動を面接と出願書類により評価し、入学者を選抜します。
- (7)私費外国人留学生特別入試では、諸外国での学びを通して得た基礎的な知識と日本に留学するにあたってなされた学びの成果を日本留学試験と出願書類により評価します。あわせて日本語の運用能力を面接により評価し、入学者を選抜します。
- (8)第3年次一般編入学入試では、他大学などでの学修により身につけた経済学・経営学などに関する知識とそれを活用する思考力・判断力・表現力、及び英語の運用能力をそれぞれ小論文と出願書類により評価します。あわせて、他者と協働・協調する力、あるいは他者をリードする力を面接により評価し、入学者を選抜します。
- (9)第3年次推薦編入学入試では、他大学などでの学修により身につけた経済学・経営学などに関する知識とそれを活用する思考力・判断力・表現力、及び英語の運用能力を出願書類により評価します。あわせて、他者と協働・協調する力、あるいは他者をリードする力を面接により評価し、入学者を選抜します。

システム工学部 入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)

1. 教育目的

和歌山大学システム工学部は、広範な教養及び理工学における複数領域の分野を横断する知識を身につけ、その知識を自ら活用することにより、広い視野から時代の要請に応え、産業・社会のニーズに即応できる実践力と創造性を持ち、課題解決のできる研究者や技術者を養成します。

2. 求める学生像

システム工学部は、理工系学部教育を学ぶために必要な基礎的な学力を備え、以下に示す要件を満たす人を求めます。

- (1)理数系の基礎知識と問題解決能力を持ち、国際的なコミュニケーションに必要な英語力を有する人
- (2)論理的思考力と多面的な分析能力により、複合化された複雑な課題を解決する能力を持つ人

(3)明確な目的意識を持ち、自らの将来を切り拓く意志を有する人

入学後には、自ら学び考える力を持ち、以下の様な観点から、学術・産業研究を含む広範な理工系分野で活躍する自律的な高度技術者を目指すことを求めます。

- ・自分自身の思い描くキャリアパスを客観的に考え、それに応じた2つのメジャーを選択すること
- ・メジャーが提供する専門知識・技能を主体的に修得し、未来の職業人としての基礎力を高めること
- ・異なる知識や技能を、断片的にではなく体系化して身につけ、複雑な課題を解決する能力へと高めること

3. 入学者選抜の基本方針

- (1)一般入試〔前期日程〕では、高等学校等で学んだ各教科の基本的な知識を大学入試センター試験により、数学的思考力と英語の理解力を個別学力検査により評価し、入学者を選抜します。
- (2)一般入試〔後期日程〕では、高等学校等で学んだ各教科の基本的な知識を大学入試センター試験により、システム工学を学ぶにふさわしい能力・適性を個別学力検査等により評価し、入学者を選抜します。
- (3)推薦入試では、明確な目的意識をもって入学を希望し、かつ、出身学校長より推薦を受けた者のうち、高等学校等で学んだ各教科の基本的な知識を大学入試センター試験により、目的意識や学修意欲等を面接及び出願書類により総合的に評価し、入学者を選抜します。
- (4)私費外国人留学生特別入試では、日本に留学するためになされた学びの成果を日本留学試験、出願書類、面接により評価します。あわせて、入学後の学修に必要な理解力、論理的思考力、日本語運用能力を面接により評価し、入学者を選抜します。
- (5)第3年次推薦編入学入試では、高等専門学校等での学修により身につけた理工系学部に関する専門知識・技能等を面接と出願書類により評価します。あわせて、目的意識や学修意欲等を面接により評価し、入学者を選抜します。
- (6)第3年次一般編入学入試では、高等専門学校等での学修により身につけた理工系学部に関する専門知識等を学力検査により評価します。あわせて、高等専門学校等での学修により身につけた理工系学部に関する専門知識・技能や目的意識、学修意欲等を面接により評価し、入学者を選抜します。

観光学部 入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー)

1. 教育目的

21世紀は「観光の時代」と言われ、世界のあらゆる国・地域で最も有望な成長分野として観光が注目を集めています。わが国においても観光は戦略産業と位置づけられ、官民一体での「観光立国」実現に向けた政策や取組が加速するなか、観光産業や行政の現場と密接に連携しながら、新しい観光学の創造及び観光を支えるに相応しい豊かな教養と専門性並びにグローバル時代に対応したハイレベル

な国際的・学際的視点を持つ観光人材の輩出が期待されています。

このような背景のもと、和歌山大学観光学部では「観光経営」・「地域再生」・「観光文化」という3つの基本領域(コース)の相互関係として観光学の学問体系の全体像を認識しつつ、このうちのいずれかの領域に主たる専門性(より深い教養)を発揮できる人材を養成することを目指します。

現代社会で求められる実践的な諸課題に対しては、専門性を活かして応用することができる「包括的対応力(ジェネリックスキル)」が必要です。英語による専門科目の履修機会を飛躍的に増加させることにより、異文化コミュニケーション力を高め、グローバル化した社会状況への高度な対応力を涵養することを重視します。さらに、地域の諸課題に取り組む実践型教育の機会を拡充することにより、オンサイトでの創造的実践力を身に付けることを目指します。

2. 求める学生像

観光学部では、観光についての幅広い関心を持つ以下のような人を求めます。

(1)多角的な思考力を身につけることが期待される人

- ・高等学校等で履修する科目について基本的な知識を有する。
- ・論理的に深く思考する力を有する。
- ・多面的にものごとをとらえる力を有する。

(2)柔軟な協働力を身につけることが期待される人

- ・他者の意見を尊重し受け入れる柔軟性を有する。
- ・協調性を持ち円滑なコミュニケーションを図る力を有する。
- ・規範性を持ち自己を律する力を有する。

(3)広範な理解力を身につけることが期待される人

- ・文章を読み解く力を有する。
- ・多様な文化・歴史・地理・言語への強い関心を有する。
- ・現代の社会情勢に対する強い関心を有する。

(4)高度な創造力を身につけることが期待される人

- ・自身の考えを文章としての確に表現できる力を有する。
- ・主体的かつ積極的にものごとに挑戦し持続する力を有する。
- ・新しいものごとへの好奇心・探究心を有する。

入学後には、観光にかかわる諸問題に一層の関心を持ち、これまで身に付けた能力をさらに磨くとともに、次のような知識・技能・能力を身につけることが求められます。

- ・自律的にキャリアパスを考え、それに応じたコースを選択すること
- ・各コースにおいて専門知識を身につけ、同時に多角的な思考力を身につけること
- ・実践型プログラムを通して柔軟な協働力を身につけること

- ・専門演習等の少人数科目により高度な創造力を身につけること

3. 入学者選抜の基本方針

- (1)一般入試[前期日程]では、入学後の専門的知識と教養を学ぶ基礎となる学力を大学入試センター試験により、また、英語の理解力及び国語の論理的思考力、又は数学的思考力を個別学力検査により評価し、入学者を選抜します。
- (2)一般入試[後期日程]では、入学後の専門的知識と教養を学ぶ基礎となる学力を大学入試センター試験により、また、理解力、論理的思考力、創造力の力量を個別学力検査等の総合問題により評価し、入学者を選抜します。
- (3)AO入試では、入学後の学修に必要な理解力、論理的思考力、創造力、協働力の力量を書類審査、講義と提出書類に基づいた面接、プレゼンテーションにより多面的に評価し、観光関連産業・政策のリーダーや、観光産業を確立できうる入学者を選抜します。
- (4)推薦入試では、高等学校等において身につける学力のうち、基本的な知識の修得状況及び高等学校等において意欲的に取り組んだ活動実績、資格取得等により入学後の学修に必要な学力、柔軟な協働力、さらにアドミッション・ポリシーへの適合を面接及び出願書類により総合的に評価し、入学者を選抜します。
- (5)社会人特別入試では、入学後の学修に必要な理解力、論理的思考力、創造力、協働力に加え、高等学校等卒業後の社会人経験とそこから得た知見、及び生涯にわたり学び続ける姿勢などを出願書類及び面接により総合的に評価し、入学者を選抜します。
- (6)私費外国人留学生特別入試では、入学後の学修に必要な理解力、論理的思考力、創造力、協働力に加え、諸外国での学びを通して得た基礎的な知識と日本に留学するにあたっての学習成果、日本語運用能力を日本留学試験、出願書類、面接により総合的に評価し、入学者を選抜します。

募集人員

学 部	学 科	募集人員
教 育 学 部	—	募集なし
経 済 学 部	経 済 学 科	若 干 名
システム工学部	システム工学科	若 干 名
観 光 学 部	観 光 学 科	若 干 名

出願資格

次の【基礎資格】を有し、かつ、【要件】を満たす者

【基礎資格】

次の各号のいずれかに該当する者

1. 外国に所在し外国の教育制度に基づく教育機関において、学校教育における12年の課程を修了した者及び2019年3月31日までに修了見込みの者
2. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずる者を含む。次号において同じ。)に合格した者で、2019年3月31日までに18歳に達するもの
3. 外国に所在し外国の教育制度に基づく教育機関において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者(これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定に合格した者を含む。)で、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了した者及び2019年3月31日までに修了見込みの者で、かつ、2019年3月31日までに18歳に達するもの
4. 外国に所在し外国の教育制度に基づく教育機関において、高等学校に対応する学校の課程(その修了者が当該外国の学校教育における11年以上の課程を修了したとされるものであることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを修了した者及び2019年3月31日までに修了見込みの者
5. スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を外国において取得した者で、2019年3月31日までに18歳に達するもの
6. ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を外国において取得した者で、2019年3月31日までに18歳に達するもの
7. フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を外国において取得した者で、2019年3月31日までに18歳に達するもの
8. グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を外国において取得した者で、2019年3月31日までに18歳に達するもの
9. 国際的な評価団体(WASC、CIS、ACSI)から教育活動等に係る認定を受けた外国に所在する教育施設に置かれる12年の課程を修了した者で、2019年3月31日までに18歳に達するもの

【要件】

次のすべてに該当する者

1. 日本国籍を有しない者(日本国の永住許可を得ている者を除く)
2. 日本の大学において教育を受ける目的をもって、出願期間中のいずれかの期日を含み日本に入学

している者

3. 出入国管理及び難民認定法に規定する「留学」の在留資格を有する者又は入学後に取得できる者
4. 独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験を受験した者で、出願する学部の指定する【日本留学試験、TOEIC Listening & Reading Test又はTOEFLにおける出願要件】（8ページ参照）を満たす者
5. TOEIC Listening & Reading Test又はTOEFLのいずれかの成績が、出願する学部の指定する【日本留学試験、TOEIC Listening & Reading Test又はTOEFLにおける出願要件】を満たす者

※インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の外国の教育機関出身者は、出願が認められない場合があるため、必ず出願前(できるだけ早い時期)に、出願資格があるかを裏表紙裏面の志望する学部の照会先に照会してください。

【日本留学試験、TOEIC Listening & Reading Test又はTOEFLにおける出願要件】

試験 学部・学科		日本留学試験					TOEIC Listening & Reading Test	TOEFL		
		日本語	総合 科目	理科	数学	得点等		概要	PBT (ペーパー 試験)	iBT (インターネット 試験)
経済学部	経済学科	○	○	×	「コース1」	「日本語」の得点が200点以上 「総合科目」と「数学」の合計得点が240点以上	「総合科目」「数学」の出題言語は、日本語、英語のいずれも可とします。	450点以上	440点以上	42点以上
工学部	システム工学科	○	×	○	「コース2」	「日本語」の得点が200点以上 「数学」と「理科」の合計得点が240点以上	「理科」の選択科目は、物理、化学、生物のうち任意の2科目を選択とします。各科目の出題言語は、日本語、英語のいずれも可とします。	410点以上	390点以上	29点以上
観光学部	観光学科	○	総合科目 又は 理科の いずれか		「コース1」 又は 「コース2」 のいずれか	各科目の得点が平均点以上	「理科」の選択科目は、物理、化学、生物のうち任意の2科目を選択とします。「総合科目」「理科」「数学」の出題言語は、日本語、英語のいずれも可とします。	450点以上	440点以上	42点以上

(注1) 日本留学試験の成績を利用できるのは、2018年度の6月実施分又は11月実施分のいずれかの試験結果とします。

(注2) TOEIC Listening & Reading Testのスコアは、出願期間最終日よりさかのぼること2年以内に受験した試験結果とします。

(注3) TOEFLのスコアは、出願期間最終日よりさかのぼること2年以内に受験した試験結果とします。

(注4) 日本留学試験の「日本語」に関して、「記述」の得点は利用しません。

【注意】TOEFLのスコア提出等について

TOEFLのスコアを提出してください。

ただし、出願期間最終日よりさかのぼること2年以内に受験した試験結果とします。

「Official Score Report」
(TOEFL受験者がアメリカETSに申し込むこと。)

(注意事項)

TOEFL-ITPのスコアは利用できません。

受験者が和歌山大学の志望学部の学務課学務係に届くようアメリカETSに発行手続を行ってください。DI Codeは、志望学部により異なりますので、十分注意し手続をしてください。

受験者が発行手続を行った後、和歌山大学志望学部の学務課学務係に「Official Score Report」が直送されます。

発行手続には、志望学部毎の次のDIコード等が必要です。

DI Codeは、志望学部により異なりますので、十分注意し手続をしてください。

志望学部	Name of Institution	DI Code
経済学部	Wakayama University Faculty of Economics Student Affairs Section 2	B541
システム工学部	Wakayama University Faculty of Systems Engineering Student Affairs Section 3	B540
観光学部	Wakayama University Faculty of Tourism Student Affairs Section 4	B539

TOEFLの公式スコア「Official Score Report」が出願期間内に届かなかった場合、書類不備となり出願は受理できません。

本学に届くまで2か月程度かかる場合もありますので、時間には十分余裕をもって送付手続をしてください。

出願手続

出願期間・方法

平成31(2019)年1月8日(火)～1月10日(木)

※郵送の場合は出願期間最終日の17時までに本学必着。

- ①出願者は、出願書類等を取り揃え、本学所定封筒を用い、提出してください。
- ②持参又は書留速達郵便により受付します。
- ③持参の場合の受付時間は9時から16時(12時から13時は除く)までとします。
- ④郵送の場合は、平成31(2019)年1月10日(木) 17時までに本学に必着したものに限りします。
- ⑤出願期間内に書類が届かなかった場合、書類不備となり出願は受理しません。

出願書類提出先

〒640-8510 和歌山市栄谷930 和歌山大学 学務課学務第二係(経済学部担当)
学務課学務第三係(システム工学部担当)
学務課学務第四係(観光学部担当)

出願書類

指示がなければ、出願書類は全て日本語で記入してください。

1	入学願書(裏面：出願資格) 受験票 写真票	本要項添付の所定様式です。 必要事項を全て日本語(日本語以外での記載の指示がある欄を除く)で自書してください。 裏面の出願資格も忘れずに記入してください。 出願前3か月以内に撮影した同一の顔写真(縦4cm×横3cm、正面向き、無帽、上半身、無背景の顔写真)を、入学願書・受験票・写真票の所定欄に貼付してください。
2	志望理由書	本要項添付の所定様式です。 必要事項を日本語で自書してください。
3	履歴書	本要項添付の所定様式です。 日本語又は英語で自書してください。
4	証明書等 出願資格は7ページを参照してください。	基礎資格1に該当する者 1. 中等教育の学校(日本の高等学校相当)の卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書 2. 中等教育の学校(日本の高等学校相当)の成績証明書(各学年毎の成績が分かるもの) (注) 1及び2は出身学校長発行のものに限ります。 3. 中等教育(日本の高等学校相当)の修了を認定する外国の統一試験等の合格(見込)証明書及び成績(評価)証明書(該当者のみ) ○該当者(その統一試験等に合格しなければ所在する国の中等教育(日本の高等学校相当)の修了と認められない教育制度の国で教育を受けた者)は、1、2に加え3を提出すること。 (参考) 外国の統一試験等 イタリア共和国の教育制度によるもの…Maturita(マトゥリタ)試験 その他の国の教育制度によるもの…国(州)の実施する統一試験等 基礎資格2に該当する者 大韓民国の「高等学校卒業学力検定考試」、アメリカ合衆国の「GEDtest」等がこれに該当します。 1. 当該検定の合格証明書 2. 当該検定の成績証明書 基礎資格3に該当する者 1. 準備教育課程等入学以前に卒業した高等学校に対応する学校の成績証明書及び卒業(修了)証明書 (検定に合格した者は、その合格証明書及び合格成績証明書) 2. 準備教育課程等の修了証明書又は修了見込証明書

		<p>基礎資格 4 に該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中等教育の学校(日本の高等学校相当)の卒業(修了)証明書 又は卒業(修了)見込証明書 2. 中等教育の学校(日本の高等学校相当)の成績証明書(各学年毎の成績が分かるもの) (注) 1 及び 2 は出身学校長発行のものに限ります。 3. 中等教育(日本の高等学校相当)の修了を認定する外国の統一試験等の合格(見込)証明書及び成績(評価)証明書(該当者のみ) ※該当者(その統一試験等に合格しなければ所在する国の中等教育(日本の高等学校相当)の修了と認められない教育制度の国で教育を受けた者)は、1、2 に加え 3 を提出すること。 <p>(参考) 外国の統一試験等 イタリア共和国の教育制度によるもの…Maturita(マトゥリタ)試験 その他の国の教育制度によるもの…国(州)の実施する統一試験等</p> <hr/> <p>基礎資格 5 に該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国際バカロレア資格証書 (International Baccalaureate Diploma)の原本証明された写 2. 国際バカロレア資格最終試験 6 科目の成績評価証明書 <hr/> <p>基礎資格 6 に該当する者</p> <p>一般的大学入学資格証明書(Zeugnis der allgemeinen Hochschulreife)の原本証明された写</p> <hr/> <p>基礎資格 7 に該当する者</p> <p>バカロレア資格証書(Diplôme du Baccalauréat de l'Enseignement du Second Degré)の原本証明された写 及びバカロレア資格試験成績証明書(Relevé des Notes)</p> <hr/> <p>基礎資格 8 に該当する者</p> <p>GCE-Aレベル資格試験の成績評価証明書 ※GCE-Aレベル試験において、1 科目以上合格のこと。</p> <hr/> <p>基礎資格 9 に該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 中等教育の学校(日本の高等学校相当)の卒業(修了)証明書 又は卒業(修了)見込証明書 2. 中等教育の学校(日本の高等学校相当)の成績証明書 3. 当該教育施設が国際的な評価団体(WASC、CIS、ACSI)から認定を受けていることが確認できる書類 <p>(注) 1 及び 2 は出身学校長発行のものに限ります。</p>
--	--	--

	<p>【4 証明書等 注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○証明書等が英語以外の外国語で作成されている場合、日本語又は英語に翻訳し、その内容が原本と相違ないことを大使館等で証明を受けたものも併せて提出してください。大使館で翻訳証明が受けられない場合は、次のいずれかの方法をとってください。 <ul style="list-style-type: none"> ①現在在籍している学校の学校長名(学校長印捺印のこと)で翻訳証明する。 ②公証人、弁護士等、公的に認められている法律関係有資格者又は翻訳関係公的資格者(いずれも公印捺印のこと)により翻訳証明する。この場合は、翻訳証明を行った者の公的資格を確認する書類も提出してください。 ○成績証明書で、科目名、成績評価等が符号又は略字等で表示されている場合は、その説明書を添付してください。 ○改姓名等により現在の氏名と書類の氏名が異なる場合は、公的機関が発行した書類の写を添付してください。 ○証明書等は、学校長又は機関の長の作成したものを提出してください。(学校長又は機関の長の公印か、学校又は機関の公印あるいはオフィシャルシールのいずれかがあるもののことです。学校や機関のレターヘッド等のテンプレートのみでは書類不備となります。) ○証明書等は、「原本証明された写」と指示がない限り全て原本を提出してください。「原本証明された写」と指示がある場合、原本の写しであることの証明は大使館等公的機関で受けてください。 ○「原本証明された写」と指示がある場合でも必要に応じ原本の提示を求める場合があります。 	
5	在留期間等を証明する書類	<p>次のいずれかを提出してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「在留カード」の両面コピー 2. 市区町村発行の「住民票の写し」(原本)で、姓名、国籍、在留資格、在留期間が記載されたもの 3. 上記を提出できない場合(出願期間を含んだ期間の短期滞在者)は、パスポートのコピー(すべてのページ)
6	日本留学試験成績通知書(日本学生支援機構発行)のコピー	平成30(2018)年6月実施分又は11月実施分のいずれか1つを提出してください。
7	TOEIC Listening & Reading Test 又はTOEFLのスコア	<p>出願期間最終日よりさかのぼること2年以内の試験結果とします。</p> <p>(TOEIC Listening & Reading Testの場合)</p> <p>TOEIC運営委員会発行の証明書「Official Score Certificate(公式認定証)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○関係機関が専用用紙で発行したものに限り、自分でプリントアウトしたものは受け付けません。 ○TOEIC-IPのスコアは利用できません。 <p>(TOEFLの場合)</p> <p>公式スコア票「Official Score Report」(TOEFL受験者がアメリカETSに申し込むこと。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○詳細な手続は、必ず9ページを確認してください。 ○TOEFLの公式スコア「Official Score Report」が出願期間内に届かなかった場合、書類不備となり出願は受理できません。本学に届くまで2か月程度かかる場合もありますので、時間には十分余裕をもって送付手続をしてください。 ○TOEFL-ITPのスコアは利用できません。

8	<p>入学検定料 (17,000円)</p>	<p>17,000円 (入学検定料の納入方法) 金融機関窓口(ゆうちょ銀行を除く)又はコンビニエンスストア(日本国内の店舗のみ)のいずれかの方法により納入してください。</p> <p>1. 金融機関窓口(ゆうちょ銀行を除く)による納入方法</p> <p>①本要項添付の所定様式です。 「平成31年度入学検定料の納入上の注意(私費外国人留学生特別入試用)」の振込依頼書等記入要領に従い必要事項を記入し、「C票 振込金受付証明書(納入確認票貼付用)」、「B票 振込金領収書」、「A票 振込依頼書」を切り離さずに「電信扱」が利用できる金融機関窓口(ゆうちょ銀行を除く)から振り込みしてください。振込手数料は志願者負担となります。 注1. 通常、金融機関の窓口営業時間は、15時までです。また、土日・祝日は休業となります。 注2. ATM・スマートフォン・携帯電話・PC等からは振り込まないでください。</p> <p>②振り込み後は、「C票 振込金受付証明書(納入確認票貼付用)」、「B票 振込金領収書」を受け取ってください。C票、B票に金融機関収納印が押印されているかを必ず確認してください。 C票は本要項添付の「納入確認票」所定欄に貼付する必要があります。 B票は領収書となりますので大切に保管してください。</p> <p>2. コンビニエンスストア(日本国内の店舗のみ)による納入方法</p> <p>①事前にWebでの申込みが必要です。払込み方法等の詳細は、必ず下記ホームページで確認してください。 https://e-shiharai.net/ QRコード</p>  <p>②下記の払込み期間中に払い込みください。 払込期間：平成30(2018)年12月1日(土) 0:00から 平成31(2019)年1月10日(木) 15:00まで</p> <p>③払込み後は、「入学検定料・選考料取扱明細書」を必ず受け取ってください。「収納証明書」部分は本要項添付の「納入確認票」所定欄に貼付する必要があります。</p> <p>3. 検定料返還について 出願を受理した後は、次の場合を除き、いかなる理由があっても振り込み済の検定料は返還しません。ただし、次の場合は、平成31(2019)年3月1日までに返還請求を行ってください。 ・検定料振り込み後、出願書類を提出しなかった者又は出願が受理されなかった者 ・検定料を誤って二重に振り込みした者</p>
---	----------------------------	--

9	<p>納入確認票 C票 振込金受付証明書 又は 収納証明書 (納入方法により異なります。)</p>	<p>(金融機関窓口(ゆうちょ銀行を除く)により納入した場合) 本要項添付の所定様式です。 金融機関で受領した、「<u>C票 振込金受付証明書</u>」の取扱金融機関収納印を確認し、本要項添付所定様式「<u>納入確認票</u>」の所定欄に糊で剥がれないように貼付してください。取扱金融機関収納印のないものは無効のため、必ず確認してください。取扱金融機関収納印が押印されていないC票の場合は出願を受理しません。</p> <p>(コンビニエンスストアにより納入した場合) 払込み後に交付される「<u>入学検定料・選考料取扱明細書</u>」の「<u>収納証明書</u>」を本要項添付所定様式「<u>納入確認票</u>」の所定欄に糊で剥がれないように貼付してください。</p>
10	<p>宛名ラベル (合格通知書・入学手続案内送付用)</p>	<p>本要項添付の所定様式です。 志願者の日本国内の郵便番号、住所、氏名を記入してください。団地、アパート等に居住している者は、棟番号、戸番を入れ、間借りをしている者は「〇〇様方」と記入してください。 ※印欄は記入しないでください。</p>
11	<p>「受験票在中」封筒 (本学からの受験票送付用)</p>	<p>本要項添付の所定封筒です。 362円分の切手を2枚以内で貼付してください。 記入は「宛名ラベル」に準じ、志望学部も記入してください。</p>
12	<p>「入学願書在中」封筒</p>	<p>本要項添付の所定封筒です。 出願書類を本学に持参又は郵送する際に使用する封筒です。封筒表の志望する学部名、志願者住所・氏名欄に記入し、出願書類を整え、封入してください。</p>

出願上の注意事項

1. 出願書類に記入する文字は黒のボールペン書き(摩擦等の温度変化で筆跡が透明化するボールペンは使用不可)とし、楷書で正確に記入してください。
2. 記載事項を訂正する時は、誤記部分を2本線で抹消しその上に訂正印を押印してください。修正液類の使用や紙面の削り取り等はしないでください。
3. 出願書類等に不備がある場合は、受理しません。
4. 出願後の書類は、一切返還しません。
5. 出願後は記載事項の変更は認めません。ただし、出願後、転居等の理由により、入学願書、宛名ラベル(合格通知書・入学手続案内送付用)、「受験票在中」封筒(本学からの受験票送付用)に記入した住所、連絡先に変更があった場合は、直ちに志望した学部の学務係まで簡易書留速達郵便で届け出てください。届け先は本要項裏表紙裏面【私費外国人留学生特別入試に関する問合せ先】を参照してください。
6. 出願書類等に虚偽の記載をした者は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

受験上及び修学上の配慮を必要とする者の事前相談

障がいのある者等、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、事前に電話連絡した上で事前相談の申請をしてください。連絡先は、本要項裏表紙裏面【私費外国人留学生特別入試に関する問合せ先】を参照してください。

入学者選抜方法等

入学者選抜方法は、日本留学試験の成績、本学が実施する面接の結果及び出願書類により総合して行います。

なお、面接は日本語で行います。

学力検査等

	日本留学試験 (2018年6月実施分又は11月実施分のいずれか)				本学が実施する 学力検査等	配点 合計	備 考
	日本語 (「記述」は除く)	総合 科目	理科	数学	面接 (日本語)		
経済学部	○	○	×	○	○	2000	上段の○、※印は配点対象であることを表し、下段の数字は配点を表します。 なお、日本留学試験の科目の選択、※印の「総合科目」と「理科」の選択は、【日本留学試験、TOEIC Listening & Reading Test 又は TOEFL における出願要件】によります。
	400	200	—	200	1200		
システム 工学部	○	×	○	○	○	1600	
	400	—	200	200	800		
観光学部	○	※		○	○	1600	
	400	200	200	200	800		

試験日時及び試験場

平成31(2019)年2月15日(金)

学 部	学力検査等	試験開始時刻	試 験 場
経済学部	面接	13:30	和歌山大学西2号館 (和歌山市栄谷930)
システム工学部			和歌山大学北1号館 (和歌山市栄谷930)
観光学部			和歌山大学西2号館 (和歌山市栄谷930)

受験上の注意事項

1. 試験当日は、
「和歌山大学私費外国人留学生特別入試受験票(以下「和歌山大学受験票」)」と
「出願時に提出した日本留学試験成績通知書と同じ回の受験票」
を持参してください。
2. 和歌山大学受験票は、学力検査等の受験後も、入学手続の際に必要となりますので試験終了後も大切に保管してください。

合格者発表

平成31(2019)年3月6日(水) 9時

和歌山大学構内の所定の掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には速達郵便により送付します。合格通知書、和歌山大学受験票は、入学手続の際に必要となりますので試験終了後も大切に保管してください。

不合格者への通知は行いません。また、電話、メール等による可否の問合せには応じません。

入学手続

合格通知を受けた者は、入学手続期間内に入学手続を行ってください。入学手続の詳細は、合格通知書とともに送付する「入学手続案内」で指示します。

入学手続方法

「入学手続案内」を熟読の上、必要書類等を整え、「持参による方法」又は「郵送による方法」により行ってください。郵送による場合は、書留速達郵便で平成31年3月15日(金) 17時まで【時間厳守】に本学必着するように郵送してください。

入学手続期間

平成31年3月14日(木)から3月15日(金) 9時30分～17時まで

提出書類

提出書類	備考
和歌山大学私費外国人留学生特別入試受験票	照合し、入学手続完了後返却します。
合格通知書	照合し、入学手続完了後返却します。
入学料	282,000円（下記注参照） 本学所定の振込依頼書により、入学手続時までに納入してください。 平成31年度入学者の納入金額及び納入方法の詳細は「入学手続案内」でお知らせします。
その他	上記以外の必要書類は、「入学手続案内」で指示します。

注1 上記記載の金額は、平成30年4月現在のものです。

注2 入学料の改定が行われた場合には、改定後の金額を納入することになります。

注3 既納の入学料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

(ア) 誤って二重に納入した場合

(イ) 入学手続を行わなかった又は完了しなかった場合

注4 入学料の納入のみでは、入学手続を完了したことにはなりません。

入学前の主な諸経費（単位：円）

諸経費	経済学部	システム工学部	観光学部
学会費・同窓会費・後援会費	52,000		10,000
研修・実習経費	20,000		23,000
学生団体諸会費	20,500	20,500	20,500

注1 上記記載の金額は、平成30(2018)年4月入学者のものです。平成31(2019)年4月入学者の納付金額については、決定次第、別途お知らせします。

入学後に必要な納付金

授業料 半期分 267,900円 年額 535,800円

注1 上記記載の金額は、平成30(2018)年4月現在のものです。

注2 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

注3 平成31(2019)年度入学者の納入金額については、決定次第、別途お知らせします。

入学手続に関する注意事項

1. 入学手続期間中に入学手続を完了しない場合は、本学への入学を辞退したものととして取り扱います。
2. 入学手続完了後、高等学校等の課程を卒業(修了)しないなどの事由が生じた場合は、入学許可を取り消します。
3. 入学手続完了後、理由の如何に関わらず入学を辞退する場合は、平成31年3月29日(金) 17時までに「入学辞退願」を本学入試課に提出し、その許可を得てください。入学手続完了後に入学を辞退した場合は、入学料の返還はできません。平成31年3月29日(金) 17時を超えての「入学辞退願」は受付しませんので注意してください。

個人情報の取扱い

本学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人和歌山大学における個人情報の保護に関する規程」等に基づき、厳密に取り扱います。

1. 出願書類等に記載された個人情報は、「入学者選抜(出願処理、選抜試験実施)」、「合格者発表」、「入学手続」の入試業務、「入試の改善や志願動向等の調査・研究」、「その他の本学における諸調査・研究等」を行うために利用します。出願書類等に不備があった場合には、その訂正・補完を迅速に行っていただくために、本学に出願していることを、保護者等又は出身学校に連絡する場合があります。

なお、入学者については、「入学者の受入準備」、「教務関係(学籍管理、修学指導等)」、「学生支援関係(健康管理、授業料免除・奨学金業務、就職支援等)」、「授業料等収納業務」を行うために利用します。

2. 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、「入試結果の集計・分析」、「入学者選抜方法の調査・研究」及び「学生支援関係(授業料免除・奨学金業務等)」を行うために利用します。
3. 一部の業務を外部の事業者へ委託する場合があります。この場合、外部の事業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだ上で、当該事業者に対して個人情報を提供します。
4. 捜査機関等が捜査上必要とした場合等、行政機関等が法令に定める業務等を行うに必要な限度で利用することについて、相当の理由があるときに、当該行政機関に個人情報を提供します。

入試情報の開示

志願者数・受験者数・合格者数・入学者数

和歌山大学ホームページ「入試情報」 <http://www.wakayama-u.ac.jp/admission/> でお知らせします。

学部の紹介

1. 経済学部

本学部は、1922年(大正11年)に創立された旧制和歌山高等商業学校以来の伝統を受け継ぎ、100年近くにわたって社会に多くの優れた人材を送り出してきました。この間、時代と社会の要請にこたえながら、経済社会の理解に不可欠な学問分野である経済学、経営学、会計学、情報学、法学の教員を揃え、論理的思考力、専門知識、実務能力、幅広い教養を有する人材の養成に努めてきました。卒業後の進路は、金融・製造・流通・情報・公務など多様な業種にわたり、昨今の厳しい就職状況下でも就職率は高い水準を保っています。また、本学大学院経済学研究科修士課程に進学する学生もいます。優秀な成績を修めた学生は、3年次修了時点で大学院に進学できる制度が設けられています。

近年の多様化・複雑化する社会においては、複数の学問分野にまたがる専門知識を活用し、一人ひとりが他の人と協力しながら問題を発見・解決する能力が求められています。そのような能力・資質を身につけるために、本学部のカリキュラムは、経済学、経営学、会計学、情報学、法学の各学問領域での体系的な学修に加え、これらのうちのいくつかの学問領域の学修を組み合わせています。その上で、卒業後の進路において必要となる専門知識や実務能力などを考慮して横断的な学問領域における授業科目を体系化しています。学生は初年次から将来の自分の姿を思い描きながら主体的・計画的に学修を進めます。このカリキュラムでは、学修目標とそれによって目指せる可能性のある代表的な進路を想定し、次の「プログラム」を設けています。

「グローバル・ビジネス & エコノミー」

グローバルな視点から経済領域・経営領域で種々の課題に対応できる能力を身に付け、グローバル企業、国際機関、NPO・NGOなどにおいて中心的な役割を担える人材となることを目指します。

「企業分析・評価」

企業の資金調達・運用から事業譲渡など、銀行の融資審査や証券会社の引受、会計事務所のコンサルティング業務、一般企業のファイナンス関連業務などで企業価値の分析及び評価を行うことができる人材となることを目指します。

「ビジネスデザイン」

新たな視点から事業、企業の再活性化に取り組める能力を身に付け、企業の企画部門などにおいて、高い企画力を持って組織変革や業務改善を担える人材や、起業家などを目指します。

「企業会計・税法」

会計学及び税法の視点からの実務能力を身に付け、企業の経理・財務部門において、会計・法制度の知識をもとに組織活性化の支援に取り組む人材や、税理士、公認会計士、不動産鑑定士、国家・地方公務員などを目指します。

「地域公共政策・公益事業」

地域社会における課題解決能力を身に付け、地域の活性化を支援する国家・地方公務員や、公益性の高い事業主体の職員などを目指します。

「サステイナブル・エコノミー」

経済における持続可能性を実現できる多様性・柔軟性を有する能力を身に付け、企業のCSR関連部

門、社会的企業、環境NGO・NPOなどにおいて、多様な利害関係者と各組織の橋渡しとなれる人材となることを目指します。

2. システム工学部

システム工学部システム工学科の特徴

近年、科学技術の急速な発展に伴い、さまざまな工業技術が高度化・専門化してきました。また、一方で、エネルギー、環境、情報のようにグローバルに変化する課題から地域の産業の再生や振興といった課題にも対処することが要求されるようになってきました。前者は各専門分野の分化、後者は専門分野の統合・総合化を示唆しています。

このような状況の下にある産業界や社会の要請により柔軟に対応できるよう、システム工学部では平成27年、これまでの5学科(情報通信システム学科、光メカトロニクス学科、精密物質学科、環境システム学科、デザイン情報学科)を1学科(システム工学科)へと改組を行いました。システム工学科には、10教育研究領域(メジャー)を設定し、学生自らが将来を志向し、自らの興味や資質に見合った領域を主体的に選択することができます。具体的には、2つのメジャーを選択することによってコースを構成し、学科に相当する専門分野を学ぶことができます。これによりこれまでの学科の枠組みに固執することなく、広範かつ柔軟な専門性をもった応用力・適用力が養われることが期待されます。以下に、各メジャーの教育目的とともにいくつかのコースを示します。

・メジャー：機械電子制御

機械電子制御メジャーでは、幅広い視点から論理的思考をもって問題の解決にあたることができる技術者をめざして、機械工学、応用数学などの素養を身につけた後、制御工学、ロボット工学などのシステム論を用いた設計、運用に関する専門技術について学びます。

・メジャー：電子計測

電子計測メジャーでは、人々の生活や産業を支える情報のセンシングや処理システムを創造できる技術者の育成をめざして、電気電子工学や光工学の基礎と、計測デバイスや計測情報処理などの要素技術、さらにこれらを統合した計測システムについて学びます。

・メジャー：応用物理学

応用物理学メジャーでは、物質におけるナノスケールの世界を探求し、新しい材料やデバイスの開発に対する社会のニーズに柔軟に対応できる能力を身につけられるように、物性物理学、材料科学、電子工学にわたる専門分野を学びます。

・メジャー：化学

化学メジャーでは、化学に関わる基本的法則を学んで物質に関する理解の基盤を作った後、ナノレベルの世界における化学現象や法則、原子・電子レベルでの相互作用の発現や、新たな機能性物質の設計・開発などの専門技術について学びます。

・メジャー：知能情報学

知能情報学メジャーでは、人間とコンピュータの新たな関係が再構築される時代において、科学者や技術者として活躍できる人材を育成するための専門教育を行い、人工知能やロボット、視覚情報処理、コンピュータグラフィクスなどについて学びます。

・メジャー：ネットワーク情報学

ネットワーク情報学メジャーでは、インターネット上に構築される、新たな情報ネットワーク社会において、科学者や技術者として活躍できる人材を育成するための専門教育を行い、モバイル通信やWebシステム、ビッグデータの解析などについて学びます。

・メジャー：環境科学

環境科学メジャーでは、環境を守り、育て、次世代に継承する人材の育成をめざして、環境破壊を未然に防ぐ、自然災害から命や暮らしを守る、地球温暖化に対応する、美しい風景を創造するなど、持続可能な社会の実現に貢献するための知識と技能を学びます。

・メジャー：環境デザイン

環境デザインメジャーでは、人と自然のよりよい関係を具現化できる人材の育成をめざして、自然から生活空間にいたる環境を一体として捉え、自然再生、防災緑化、自然エネルギーなど自然と調和する技術、景観保全やまちづくり、建築設計などの計画技術について学びます。

・メジャー：メディアデザイン

メディアデザインメジャーでは、メディアデザインと情報の双方の知識を持つ人材の育成をめざして、情報技術としてのサウンドやビジュアルのデザイン、人間工学に基づくインタフェースデザイン、さらにその基礎となるデザイン制作や企画方法について学びます。

・メジャー：社会情報学

社会情報学メジャーでは、人や社会を豊かにする情報システムを企画・設計する能力を身につけます。情報技術に支えられた社会の仕組みを知り、新しい情報システムの可能性を探求するために、ソフトウェア開発や高度なコミュニケーションについて学びます。

代表的なコースとそれを構成するメジャー、期待される就職先

コース名	メジャー名	期待される就職先
ロボティクス	機械電子制御 電子計測	機械・電機、自動車、精密機械
ナノテクノロジー	応用物理学 化学	半導体・電子部品、精密機器、化学・医薬品・化粧品、 素材
コンピュータサイエンス	知能情報学 ネットワーク情報学	情報・通信、ITサービス、電機
デザインシステム	社会情報学 メディアデザイン	情報・通信、ITサービス、出版・印刷
環境システム	環境デザイン 環境科学	公務員(土木、建築、造園)、建築・住宅、環境プラント
環境化学	環境科学 化学	環境職公務員、環境測量士
電気電子工学	応用物理学 電子計測	電気電子メーカー、精密機械
知能機械システム	機械電子制御 知能情報学	自動車、電機、精密機械、生産機械、医療機器、情報 通信産業、ゲーム・アミューズメント
ネットワーク社会システム	ネットワーク情報学 社会情報学	情報通信、サービス産業、ゲーム・アミューズメント

○システム工学部では、スーパーサイエンスティーチャープログラムを設けます。

これはシステム工学部卒業後、本学教育学研究科に進学し理科の教員免許の取得を目指すコースです。

3. 観光学部

21世紀は「観光の時代」。世界のあらゆる国や地域で最も有望な成長分野として注目されるのが観光です。日本においても観光は戦略産業と位置づけられ、官民一体での「観光立国」実現に向けた政策や取組が加速するなか、観光産業や行政の現場と密接に連携しながら、新しい観光学の創造及び観光を支えるに相応しい豊かな教養と専門性、さらにはグローバル時代に対応したハイレベルな国際的・学際的視点を有する観光人材の輩出がますます期待されています。和歌山大学観光学部は、観光教育研究における日本の、そしてアジアの拠点として、これらの人材養成に応えるべくさらに進化します。

観光学部の特色

- ①観光学は人間の生活・文化に関わるあらゆる分野を総合した学問であることから、人文・社会科学から自然科学までの幅広い分野を融合的・横断的に学ぶことのできる充実したカリキュラムを用意しています。
- ②最先端の観光理論を学ぶことはもちろん、教員と学生が自治体と連携して地域課題の解決に取り組むプログラムや海外の連携大学等と共同で取り組むエリアスタディ等の機会を通じて、社会の各方面から即戦力として期待される実践力が身につきます。
- ③ハイレベルな観光人材に相応しい教養の醸成を重視し「観光プロデュース論」「日本文化演習」などユニークな実践科目を配置するほか、グローバル・プログラムの導入を通じて国際化時代における言語面でのバリアフリー化を進めます。

学生生活

(1) 入学料免除の制度

本学では、次の要件のいずれかに該当する場合は、本人の申請に基づき選考の上、入学料の全額又は半額を免除する制度があります。

- ① 入学前一年以内において本人の学資を主として負担する者(学資負担者)が死亡した場合
- ② 入学前一年以内において本人若しくは学資負担者が風水害の災害を受けた場合

(2) 入学料徴収猶予の制度

本学では、次の要件のいずれかに該当する場合は、本人の申請に基づき選考の上、平成31年7月末日(入学年度の7月末日が日曜日にあたる時は前々日まで、土曜日にあたる時は前日まで)を限度として入学料の納入を猶予する制度があります。

- ① 入学前一年以内において本人の学資を主として負担する者(学資負担者)が死亡した場合
- ② 入学前一年以内において本人若しくは学資負担者が風水害の災害を受けた場合
- ③ 経済的理由により入学料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合

(3) 授業料免除の制度

本学では、次の要件のいずれかに該当する場合は、各学期毎に本人の申請に基づき選考の上、授業料の全額又は半額を免除する制度があります。

- ① 入学前一年以内において本人の学資を主として負担する者(学資負担者)が死亡した場合
- ② 入学前一年以内において本人若しくは学資負担者が風水害の災害を受けた場合
- ③ 経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合

(4) 学生傷害保険等

① 学生教育研究災害傷害保険(学研災)

学研災は、日本国内外において、学生が正課中、学校行事中、通学中、大学施設内にいる間及び課外活動中等に不慮の事故にあい、傷害を受けたり、あるいはそれらが原因で後遺障害を負ったり、死亡した場合に、当該学生やその家族に保険金が支払われる全国的規模の補償制度です。

(注) 本学が学生全員の学研災の保険料を負担し、一括加入していますので、個々に加入する必要はありません。

② 学研災付帯賠償責任保険(学研賠)【任意加入】

学研賠は、学研災に加えて任意に加入できる保険で、日本国内外において、学生が正課中、学校行事中、課外活動中(注1)及びその往復等で、他人にけがを負わせたり、他人の財物を損壊したことにより生ずる法律上の損害賠償を保証する制度です。

(注1) この保険での「課外活動」とは、大学の規則にのっとった所定の手続により、インターンシップ又はボランティア活動の実施を目的とした組織として承認を受けた学内学生団体が行うインターンシップ又はボランティア活動をいいます。これ以外のクラブ活動中の事故は保険金支払いの対象とはなりません。ただし、正課又は学校行事に合わせてその日のクラブ活動(大学が禁じているもの等は除きます。)に参加する場合、その住居と活動場所となる施設の間を合理的な経路及び方法により移動中に行った行為は対象となる活動に含みます。

③学研災付帯学生生活総合保険(学総)【任意加入】

学総は、学研災及び学研賠では補償が不足すると思われる場合に、学研災に加えて任意に加入できる保険で、学研災や学研賠では補償されない病気や日常生活でのケガ等についても補償されます。この保険に加入すれば、賠償責任を負った場合の補償を含んでいるため、学研賠に加入する必要はありません。

(5)ノートパソコン等の情報端末の活用と準備について

本学では、履修登録やレポート及び卒業論文の作成・提出、授業資料の閲覧などでパソコンを使用する機会が多くあります。平成29年度より更なる学修環境の向上のため、個人所有のノートパソコン等の情報端末を授業でも活用する取組を開始しています。このための準備(購入等)が入学後に必要となります。

詳細につきましては、下記ホームページにて随時公開すると共に入学手続き時に改めて案内します。

URL：http://www.wakayama-u.ac.jp/admission/faculty/essential_pc.html



(6)問合せ先

問合せ事項	問合せ先
入学料免除、入学料徴収猶予、授業料免除	学生支援課 TEL 073-457-7122
外国人留学生の宿舎、奨学金、保険など	国際交流課 TEL 073-457-7524
ノートパソコン等の情報端末の活用と準備	学術情報課 TEL 073-457-7177

私費外国人留学生特別入試に
関する問合せ先

和歌山大学

《入試及び学部照会先》

〒640-8510 和歌山市栄谷930 和歌山大学

【経済学部】学務課学務第二係 TEL 073-457-7805
【システム工学部】学務課学務第三係 TEL 073-457-8021
【観光学部】学務課学務第四係 TEL 073-457-8542

〈注意〉

- ・本入試に関する全ての事項は、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- ・この学生募集要項以外に重要な通知がある場合は、本学ホームページの「入試情報」(<http://www.wakayama-u.ac.jp/admission/>)でお知らせします。
- ・電話での照会は、祝日及び年末年始(12月29日～1月3日)を除く、月～金曜日の9時から17時(12時から13時は除く)に、この学生募集要項を手元に置き、必ず志願者本人が行ってください。